

～安心安全を目指して～

2020-2021 冬季シーズン



草津温泉スキー場

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

スキー、スノーボード等のウィンタースポーツは、大自然の中で楽しむスポーツ&レジャーであるがゆえ、滑走中のリスクは低いものであると考えられますが、一方でスキー場内にはいくつかの「密」になりうる箇所が存在するため、こうした箇所については、スキー場としても最大限の配慮と対策を実施しながら、お客様にも細心の注意を払っていただけるようご協力をお願いしてまいります。

安心して冬のスキー&スノーボード等を楽しんでいただくために、当社といたしましても、しっかりとその環境を整えていく所存でございます。

【チケット・フロント受付販売関連】

- ・ チケット購入前の自動検温システム・手指消毒液の設置。
- ・ チケット購入者との間に飛沫感染防止シートを設置。
- ・ 金銭授受の際には非接触対策として必ずコイントレイを使用。

【リフト乗車関連】

- ・ 乗車待ち列の間隔保持のための案内看板の設置。
- ・ 乗車中もしくは近くに他のお客様やスキー場係員等がいる場所ではマスクおよび手袋・ゴーグル・サングラス着用の協力依頼。
- ・ 2人乗りペアはグループ以外での乗り合いを禁止するとともに、4人乗りリフトについては、グループ以外で乗り合う場合は1席以上の間隔を空け、極力前方を向いたままでの着座を徹底。
- ・ 運行終了後の搬器消毒の徹底（運転中は危険防止のため回避）。

【ジップライン乗車関連】

- ・ 受付時の検温を実施するとともに手指消毒液の設置。
- ・ 会計レジ廻りには飛沫感染防止シートを設置。
- ・ 受付時の列は間隔保持を依頼。
- ・ 利用者にはマスクおよび手袋・ゴーグル・サングラス着用の協力依頼
- ・ 利用したハーネス等の消毒の徹底。

【レストラン・ショップ関連】

- ・ レストラン入口に自動検温システム・手指消毒液の設置。
- ・ 座席についてはソーシャルディスタンスを保った席数の配置。
- ・ レストラン・ショップ内でのマスク着用の協力依頼。
- ・ 館内の温度を管理しながら常時換気の実施。
- ・ 食事利用後のテーブル・椅子等の消毒の徹底。
- ・ レジおよび食事提供カウンターには飛沫感染防止シートを設置。
- ・ 時差食事の奨励・推進
- ・ レストランエクストラルームの臨時的開放（100席）

【託児所・キッズ関連】

- ・ 受付時の検温を実施するとともに手指消毒液の設置
- ・ お預かりするお子様のマスク着用の徹底（2歳以上）
- ・ 遊具等の定期的な消毒の実施
- ・ 館内の温度を管理しながら常時換気の実施

【レンタルコーナー関連】

- ・ 入口に自動検温システム・手指消毒液の設置。
- ・ 大型の換気扇を増設することによる屋内換気の実施。
- ・ レンタルウエアについては肌に直接触れない長袖の着用依頼。
- ・ 使用済みウエアーは専用殺菌スプレーを用いた消毒の徹底。
- ・ ニット帽のレンタルは使用后その都度洗濯を行い、陳列されるものは全て洗濯済み、消毒済みのものとする事の徹底。
- ・ ゴーグルについては顔に触れるスポンジ部分、ハンド部分の消毒の徹底。
- ・ グローブについてはレンタルは行わず販売。
- ・ 会計レジ廻りには飛沫感染防止シートを設置。
- ・ 受付時の列は間隔保持を依頼。

【パトロール関連】

- ・ パトロール隊員は常にマスクを携行し、救助活動をする際には臨機応変にマスクを着用。
- ・ 負傷者の搬送で使用した救助ボート類の消毒の徹底。

【シャトルバス関連】

- ・利用者へのマスク着用の協力依頼。
- ・乗車前の手指消毒の協力依頼。
- ・運転席廻りに飛沫感染防止シートを設置。
- ・定期的な換気と消毒を実施。
- ・2人掛けシートにはグループ以外での乗り合いを禁止し、
ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・車内での会話等の自粛の協力依頼。

【従業員スタッフ関連】

- ・入社時（もしくは入社前）の検温義務付けと報告の義務付け。
- ・お客様の前では必ずマスク等を着用することと、必要に応じた手袋等の着用を義務付け。
- ・手指消毒・手洗い・うがいの徹底を啓蒙。
- ・体調の優れない従業員スタッフには直ちに休暇を指示。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストール推奨。

【スキースクール関連】

- ・校舎内でのスタッフマスク着用協力依頼
- ・校舎内入口に手指消毒液の設置。
- ・スタッフの健康管理には十分に留意し日々のチェックを実施。
- ・オゾン発生器の校舎内設置と十分な換気の実施。
- ・レッスン時の講師についてはマスク着用またはネックチューブ、ネックウォーマー類を口鼻まで上げての着用を義務付ける。
- ・講師とお客様の立ち位置は状況に応じて他の滑走者の安全が確保できる位置で距離を保つ（ソーシャルディスタンス）を心掛ける。
- ・初心者・初級者へのレッスンに関しては呼気を近づけないよう十分配慮し濃厚接触を避ける。
- ・場所を問わず一定の距離が保てるスペースを確保する。
- ・リフト等の乗車についてはスキー場の定めるガイドラインに則する。